

## 令和2年度 第4回東郷町総合計画審議会 議事要旨

開催日時	令和2年11月5日(木) 15:00~16:30
開催場所	東郷町役場3階 政策審議会室
出席者	秀島栄三(会長)、小出直美、寺澤秀治、小野田哲也、金田英和、杉原辰幸、磯村敏文、高岡俊彦、野々山利博
欠席者	佐野治、荒木裕子、井料美帆、宇都宮みのり、石切山智子
事務局	加藤企画部長、木本企画部企画情報課長、清井企画部企画情報課課長補佐、宮崎企画部企画情報課主事
傍聴者	2名
次第	議題 (1) 今後のスケジュールについて (2) 第6次東郷町総合計画基本構想(素案)について (3) 第6次東郷町総合計画基本計画(素案)について
配布資料	資料1: 第6次東郷町総合計画策定スケジュール 資料2: 第6次東郷町総合計画基本構想素案 資料3: 第6次東郷町総合計画施策体系について 資料4: 第6次東郷町総合計画基本計画素案

## 【議事概要】

### (1) 今後のスケジュールについて

発言者	内容
会 長	今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料1を説明)
会 長	事務局より説明のありました、今後のスケジュールについて、ご質問があればお願いします。
委 員	第6回審議会と議会への上程の関係はどのようになりますか。
事務局	審議会から答申を受けた後、議会に上程します。

### (2) 第6次東郷町総合計画基本構想（素案）について

発言者	内容
会 長	議題(2)の第6次東郷町総合計画基本構想（素案）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料2を説明) 会議に先立ち、本日欠席の委員よりいただいたご意見を紹介させていただきます。 「4.時代の変化に対応するまちづくりの推進」の追加に賛成します。コロナを契機としてそれ以外の課題も起こりうるという前提に立って時代の変化に対応することをうたっており、町の姿勢がよく分かります。 将来都市像の4つの追加案はどれも明るく動きがあってよい言葉ですが、追加案3が難しいところがなく、最も素直に受け入れやすいように思いました。 以上のご意見をいただきましたので、今後の検討に活かしていきたいと思えます。
会 長	事務局より説明のありました、第6次東郷町総合計画基本構想（素案）について、ご意見等をお願いします。
委 員	行政の財政が厳しくなってくる中で、財政基盤の強化を図っていかなければなりません。効率性だけでなく、財政の基盤強化や健全化という視点を加えてはどうでしょうか。
会 長	重要な視点だと思いますので事務局は検討をお願いします。
事務局	基本目標における財政運営に関する記述と、「基本構想の推進に向けて」の中の「効率的で効果的な行政運営」の表現を修正します。
委 員	「SDGsの要素」と書かれていますが、「要素」というのはどういうものでしょうか。理念とは違うものでしょうか。
事務局	SDGsについては、基本計画の各ページで関連するSDGsの17の目標のアイコンを付けて、要素というものがどのようなものかを見える化していく予定です。
会 長	一般的に「要素」という言葉を用いるかどうかを事務局は確認してください。
委 員	将来都市像の「人・まち・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」はアンケート結果等から導いた諸課題が加味され、端的に表現されたとても良い案ですが、「まち」が2回続く点が気になります。追加案もいくつか提示されていますが、短い方がキャッチフレーズとしては良いと思えます。「人・地域・みどり ずっと暮らしたい

	まち とうごう」はどうでしょうか。その根拠は、「まち」よりも狭い範疇での取組によって、持続可能なまちやより良いまちが実現していくと思うからです。
会 長	「地域」というキーワードを出していただきました。他にご意見はないでしょうか。
委 員	「ずっと暮らしたいまち」と言う表現は良いとは思いますが、長いので、案4と案5を統合した「住みやすい 活気あふれる 緑のまち とうごう」としてはどうでしょうか。
会 長	事務局が「ずっと暮らしたいまち」を設定された背景には、持続可能なまちにしたいという意味合いも込められているのでしょうか。
事 務 局	専門部会の中で出てきたキーワードを集約化したものであり、今東郷町にいる人に加えて、新しく東郷町に来てくれる人が「ずっと暮らしたいまち」になるとよいという意味合いを込めて設定したものです。
委 員	仮案は、「人・まち・みどり」が何を意味するのかが曖昧で、抽象的になっています。前半部分が示すものによって、「ずっと暮らしたいまち」を実現していくということが分かるようにした方がよいと思います。「人・活気・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」としてはどうでしょうか。
会 長	他の委員からも「活気あふれる」がよいというご意見がありました。皆さんのご意見をまとめると、「人・まち・みどり」の「まち」を変えるとよいということだと思います。「みどり」は今後も東郷町の強みとして生かしていくべきものだと思います。他にはない東郷町のイメージを表す言葉があれば、ご提案いただけないでしょうか。
委 員	自助、互助、共助、公助という点からいくと、特に互助、共助はまち全体のことでなく、地域レベルや地区レベルのことになります。地域の視点が含まれている将来都市像であれば、どこに出しても恥ずかしくないものだと思います。
会 長	議論のためにあえて反論する意見を言うとする、「地域」と「みどり」は同格ではない気がします。共助の考え方を生かすとする、「ずっと暮らしたいまち」を「共に暮らしたいまち」にするのはどうでしょうか。他の委員もご意見をお願いします。
委 員	「人・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」はどうでしょうか。「まち」を抜いて、「人」と「みどり」の二つでもよいと思います。
委 員	将来都市像について説明されている文章の中で、セントラル開発の進展等に伴い新たに形成されていく「まち」というのは、「地域」のことだと思います。ただ、「地域」と漢字で書くと固くなってしまいうため、地域のことを「まち」と表現していると思います。「ずっと暮らしたい」には意思が入っているように感じられるので、これは良いと思います。「ずっと暮らしたいまち」の「まち」は東郷町全体を指しています。将来都市像というのは、多少抽象的でも、読む人がいろいろな解釈ができることもスローガンとしてはふさわしいのではないのでしょうか。
会 長	本日の審議会で、将来都市像の方向性について決めたいと思います。
委 員	「ずっと」という単語はシンプルで、どの年齢層にも分かりやすく、インパクトがあります。基本目標を踏まえると、すべてを包含するのは、追加案3の「みんなの笑顔が輝く 自然と調和した ずっと暮らしたいまち とうごう」だと思います。「人・まち・みどり」を別の表現にすると、追加案3の内容になる印象を受けました。仮案と、追加案3の方向性で決めていけたらよいと思います。

委 員	基本目標の中でも「地域」についてしっかりとうたわれていますので、「人・地域・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」が良いと思います。
会 長	ご意見をまとめると、仮案「人・まち・みどり ずっと暮らしたいまち とうごう」は評価されていますが、「まち」が2回出てくるところを改良する必要があります。「まち」は、共に暮らすとか、一緒にというニュアンスがあり、それを満たせるのが追加案3で、これも候補になってきます。「みどり」というキーワードは残した方がよいと私は思っています。仮案と追加案3、加えて「人・みどり」に絞るという案を中心にして、響きがよく、流れのよいフレーズを事務局で再度検討いただき、次回審議会で再度示していただいたらどうでしょうか。
委 員	全員、了承

### (3) 第6次東郷町総合計画基本計画（素案）について

発 言 者	内 容
会 長	議題(3)の第6次東郷町総合計画基本計画（素案）について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>（資料3、4を説明）</p> <p>会議に先立ち、本日欠席の委員よりいただいたご意見を紹介させていただきます。</p> <p>「地域福祉を充実する」に該当するかどうかは要検討ですが、「重層的支援体制」というような言葉を入れなくてもよいでしょうか。</p> <p>「高齢者がいきいきと暮らせる」の「10年後の姿」に記載のある「財産侵害を受けたり、人としての尊厳が損なわれたりすることがないように保護・支援されて」いることはとても重要で素晴らしい目標だと思います。ただ、そのために必要となる施策が見当たらないため、加えていただけたらと思います。成年後見制度の普及啓発や市民後見人の育成等でしょうか。</p> <p>「健やかな子どもを育てる」の「施策③ いじめ・不登校対策」としては、「本人の自立や集団への適応力」を育成するだけではなく、いじめ等を予防する、あるいは早期に介入できる環境を整えることを追記してはどうでしょうか。スクールソーシャルワーカーの配置等でしょうか。</p> <p>以上のご意見をいただきましたので、今後の検討に活かしていきたいと思います。</p>
会 長	事務局より説明のありました、第6次東郷町総合計画基本計画（素案）について、ご意見等をお願いします。
委 員	障がいのある方の施策に関連して、尾張東部成年後見センターがあつて連携しているので、そのような点も加えていただき、市民後見にも触れるとよいと思います。前回の資料にはあつた「こころのバリアフリー化」がなくなっています。制度と社会資源と人の気持ちの面から取組を推進していく上では、「こころのバリアフリーの推進」という項目があつてもよいと思います。
事 務 局	再度、検討させていただきます。
委 員	「災害に強いまちをつくる」の「施策③ 消防体制の強化」について、問題点は消防法かもしれませんが、消火栓が活用されていません。現在ある設備を活用するという視点も入れた方がよいと思います。

事務局	検討させていただきます。
委員	「災害に強いまちをつくる」の「施策④ 災害時における避難者対策施策」と「施策⑤ 感染症対策」に関連しますが、指定避難所における環境整備として Wi-Fi の強化等も必要になると思います。感染症対策の面でも、避難所において必要な取組になってきます。
会長	Wi-Fi に関しては、交流人口の拡大の観点からも必要だと思いますが、その辺りは計画されているのでしょうか。
事務局	新型コロナウイルス関連でワーケーションの視点においても Wi-Fi 環境の整備は必要になってくると認識しています。今年度、来訪者向けに対しては既に実施している部分もあります。また、避難所の Wi-Fi 環境整備についても着手していますので、基本計画における書き方について検討します。
委員	「災害に強いまちをつくる」に関連して、住宅が作られる際、浸水等の災害に弱い場所においても建設を許可せざるを得ないのが実情だと思いますが、そうした場所に建設できないようにするなど何か制約ができるとういと思います。
事務局	ご指摘の点は地域強靱化計画等の個別計画での記載になると考えています。
委員	「災害に強いまちをつくる」の「施策① 災害に強い都市基盤の整備」に「円滑な交通確保に寄与する緊急輸送道路の地震対策を推進します」と書かれていますが、現在、無電柱化の重要性が叫ばれています。無電柱化は、魅力ある市街地の形成にも寄与するものだと思います。
事務局	東郷セントラル地区の一部では実施しています。
委員	多くの財源が必要になってきますが、特に緊急輸送道路では無電柱化を進めてはどうでしょうか。
事務局	緊急輸送道路では、無電柱化を含めた地震対策を推進していく考えています。
委員	「農業が活性化する」の「施策① 担い手及び新規就農者の育成」は本当に成り立つのでしょうか。農業を一つの地域産業としてどう位置付けるかということは大変大事な視点だと思います。東郷農産という受託会社がありますので、これを核として、採算がとれるようにしていく必要があります。そうしないと町の農業は衰退し、遊休農地がどんどん増えていきかねません。町の産業政策として具体的に考え、今後 10 年間の総合計画にうたっていくべきだと思います。 「健やかな子どもを育てる」の「施策④ 青少年の健全育成」に関して、実際にどうすると健全な育成につながると考えているのでしょうか。実践的なやり方で青少年の健全育成をフォローできるようにしてほしいです。
委員	「緑豊かな自然を守る」に関して、愛知池周辺や名大の東郷フィールドの周辺については、立地的に恵まれた場所なので、観光農園のようなものを誘致し、農業と町民とのふれあいを生み出すなど、具体的なアイデアが出せるとよいと思います。 公共交通や道路に関しては、東郷町には鉄道駅がないわけですが、近くの駅を活用していくとともに、私の思いとしては 10 年先を見据えれば、名古屋と豊田を結ぶ高速道路を整備して、AI を活用した自動運転のバスを走行させ、公共交通の強化を図ってはどうでしょうか。 「効率的な行財政運営を進める」に関しては、豊明市と日進市は県の企業庁の企業

	団地開発を進めていますので、東郷町も県の企業庁と連携して企業団地を作れば、企業誘致につながり、法人税も増えると思います。
会 長	本日の意見を踏まえて、事務局は基本計画の修正について検討をお願いします。